

重点的に取り組んだ活動・内容

項 目	実 践 状 況
1 実践1 【人権課題に迫る 社会科の学習】	6年生社会科の「わが国の政治のはたらき」の学習では、日本国憲法や日本の政治の仕組みについて学習する単元である。その中に、「人権に関する問題への取り組み」という内容がある。本校では、教科書の内容を取り上げるだけではなく、具体的に、日本や世界では、「どのような人権の課題が存在するか」をインターネットを活用し、調べ、新聞にまとめる学習を行った。
	成果 児童たちは積極的に学習課題に取り組み、「高齢者の人権」「障害を理由とする偏見や差別」「外国人の人権」「性的マイノリティ」など様々な人権課題について調べていた。また、調べたことを新聞にまとめ、共有することで、より多くの人権課題について知り、理解することができた。
	課題 各学年で人権に関してまとめた内容を人権コーナーに掲示していくことで学年だけでなく、学校全体に人権意識が広まっていくと考えられる。
2 実践2 【いじめゼロ集会】	本校では、人権課題の一つとして挙げられている「こどもの人権を守ろう」に関わる内容として、いじめゼロ集会を行った。内容としては、運営委員会が中心となり、いじめに関するスライドといじめをなくするためにはどうすればよいかに関する関連動画を全学級で、視聴し、学校からいじめをなくしていく意識を高めたり、一人一人には、楽しく生活していく権利があることを理解できたりできるような活動を行った。
	成果 この集会を通して、全学級からいじめをゼロにするための「いじめゼロスローガン」を作成してもらい、全学級でもいじめは絶対に許してはいけない、自分たちでいじめをゼロにしていこうとする態度を育てるための取り組みも行い、いじめに対しての意識を高めることができた。
	課題 集会の開催時期が1月ということで、いじめゼロスローガンを作ってから、各学級で実践できる期間が短くなってしまっている。今後はより早い段階（5月頃）に開催することで、年間を通してスローガンを意識した行動や学級づくりができると考えられる。